



# 学校だより 穂波平

令和6年度 第10号  
富士宮市立富士宮第四中学校  
静岡県富士宮市穂波町13-1  
TEL26-2944/FAX22-1498

校訓  
考える

学校教育目標 「主体的に行動する生徒」  
●伝え合い学び合う授業 ●認め合い高め合う仲間 ●磨き合い鍛え合う心と体

## 「向上心をもって、前に進もう」

校長 佐藤 哲洋

先月、野球のアメリカメジャーリーグで活躍したイチローさんが、アジア人で初めてアメリカの野球殿堂入りを果たしました。アメリカ野球殿堂入りとは、アメリカの野球界に貢献した選手、監督、審判員等を称えるものです。

私は、今回のことに関してイチローさんが語った内容で、印象に残ったことが2つあります。1つ目は、「生きていく上で不完全だから進もうとできる」という言葉です。この殿堂入りは、全米野球記者協会に在籍する会員の投票で決まるものですが、今回は全員賛成ではなく、満票に1票足りませんでした。この言葉は、周りの人が満票でないことに残念な思いを伝えた際に、イチローさんが言った言葉です。「完璧な人はいない。完璧、完全でないから、人は向上心をもって、さらに自分を高めようという気持ちで、前を向いて進んでいくことができる」と、私なりに解釈しました。7・8組の生徒には少し話したのですが、今、7・8組のマイカレンダーが生徒昇降口に展示されています。私などはとてもあんなきれいに作ることはできないと思うほどの素晴らしい作品です。しかし、もし、この作品で、完全に満足してしまったら、これ以上の作品は作れません。不完全な部分や課題があるから、次はさらに良い作品にしようという向上心をもって取り組むことができます。私たちも同様です。うまくいかない状況、不完全な状況であるからこそ、様々な場面で向上心をもって取り組んでいきましょう。

2つめは「今、どう生きるかということを考えていきたい」という言葉です。これは、野球殿堂入りは、あくまでも過去の実績に対する称賛であり、現在のことへの称賛でないことに対するイチローさんの思いです。イチローさんは現在51歳。2001年にアメリカメジャーリーグのシアトルマリナーズに入団し、2019年に引退しています。現在は、アメリカで若手の野球選手の指導や日本各地で高校球児への指導、女子硬式野球の普及等の活動を行っています。今なお、ハードなトレーニングを継続して自分の技術を見せることで、野球の素晴らしさを発信しています。イチローさんは、50歳を超えた今の自分にできることを常に模索し、実行することに本当の価値があると考えているのだと思います。

私は、イチローさんの言葉や考え方を、今の自分にあてはめてみました。うまくできないことや失敗したことがあっても向上心をもって前向きに、今やるべきことを見極めて、精一杯取り組まなければいけないと考えることができました。皆さんもそんな風に考えてくれたら嬉しいです。

今年度もあと2か月。令和7年度はすぐそこまで来ています。向上心をもって、1日1日を大切に前に進んでください。期待しています。



【令和7年2月6日 2月全校集会より】

## 未来の自分を想像するために…

1月18日(土)に、「教育の日」を実施しました。商工会議所の方による職業講話や、高等学校の先生による学校紹介、エスパルスのコーチによるアスリートの生活についてのお話、マイカレンダーの発表会などを実施しました。それぞれの学年の生徒が、将来の自分の姿を思い浮かべながら、今すべきこと、これからの生活で意識していくことを考えることができました。



## 富士山を心に 夢をもって生きることも

富士山学習PARTⅡ発表会が2月1日(土)、市内6会場にて開催されました。今年度の富士山学習(四中では穂波平学習)では、「探究的な見方・考え方を働かせながら問いを積み重ねる」を重点に追究を進めてきました。普段の生活の中でのちょっとした疑問や気になることを、本や辞典で調べたり、詳しい人に聞いたりしながら、自分なりの解決方法を想像し、実際に実験やデータ集めをしながら追究を深めてきました。生徒はそれぞれの視点で研究を行っていますので、ご家庭でぜひ研究成果を聞いてみてください。



## 親和的な学びの集団づくりを目指して

「生徒自身の自己決定の場をつくり、生徒の自己有用感を高め、クラスでの居場所づくりをする」ことを目的として、3学期からクラス会議を行っています。クラス会議とは、クラス全員が輪になって、クラスの問題や、個人的な悩みなどの解決策をみんなで考え、話し合う場です。肯定的に聞き、どの意見もそれぞれの人の大事な見方・考え方であると受け止め、クラスの生徒全員が何でも言い合える集団を目指します。



←班

↓クラス全体

